HITACHI

ソウルを目ざして

メダルを狙う戦士たち

監督　野田　清

昨年、ソウル・オリンピックの切符を手にしてから、従来のアジア対策のち、ヨーロッパ対策へ切り替え、チームの強化を図って来ました。日本チームがヨーロッパを相手に勝つためには、攻撃的なディフェンスの完成が必要条件にあげられます。そのため、国内では、新ディフェンスのトレーニング（プレス・アタック）に励み、成果と問題点を注出すべく、欧州遠征（西ドイツ、アイスランド、ユーゴスラビア）を繰り返し、徐々に日本チームに適したシステムに改良され、その結果、7月7日、19年振りにユーゴナショナルチームから1勝をあげることが出来、スタッフ、選手とも、ヨーロッパ勢と互角に闘える自信と手ごたえを確認したように思えます。

しかし、6位入賞を実現させるためには、残された期間、攻撃的な新ディフェンスの完成、スピードハンドボールの徹底、攻撃のポジションごとのレベルアップと闘争心の満ちあふれたチームづくりを達成し、日本ハンドボール界悲願の世界Aクラス入りを果たせるようがんばります。

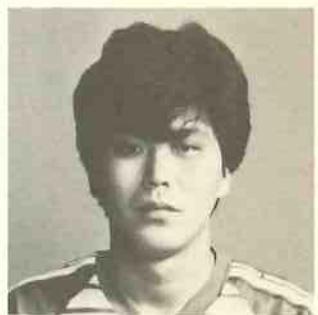
どうか皆様方も今以上に全日本チームへのご指導、ご激励お願い致します。

コーチ　津川　昭

コーチとして、このチームを指導するようになって、早くも3年半が経過した。もう、私として、選手に教えることがないくらい、私のもっていたハンドボールのノウハウを出し尽くした気がする。

さて、本番を目の前にして、我々の目標である6位入賞であるが、かつて私が選手であった頃と比較すると、随分、現実に近いものとして考えられる状態になっていると思う。私達の頃は目標ベスト8といっても、我々の気持ちの中には「どうのこうの言ってもどうせ無理だろう」というものがあったし、また自信を持つだけの、戦術、戦法もなかった。しかし今回は、新しいディフェンスシステムの開発により、「もしかしたら」というところまでこぎつけている。現在のナショナルチームは、歴代のチームの中で、一番時間とお金をかけていると思う。アジア（特に韓国）のレベルアップにより、アジアで勝つためには、どうしてもそれが必要だったし、アジア予選以後も積極的に海外遠征に繰り出す事によって、今まで以上のチームを作ることが出来た。そういう意味では、日本協会、各企業の協力には感謝の気持ちでいっぱいである。

野田監督を中心とする我々のハンドボールが、世界でどれだけ通用するか、ファンの皆様以上にソウルが楽しみです。

支援コーチ　佐藤要二

ソウル・オリンピック出場に際し、長い間御支援、御協力頂いたハンドボール関係の方々、会社の上司、友人の皆様方に、この紙面お借りし厚くお礼を申し上げます。

2ケ月後に迫ったオリンピック、対戦チーム、日時、会場がすべて決まり、第1戦の東ドイツ必勝に向け、これからの合宿、トレーニングを無駄にせず、ヨーロッパの壁を打ち破り、6位入賞を目指し努力します。

合宿、遠征事に、ステップアップして行く、頼もしい全日本チームにこれからも、多くの御声援を願いします。

支援コーチ　塙　敏

〝オリンピック出場〟。スポーツマンにとってこんな光栄は他にないと思います。それだけに名誉と共に、責任の大きさを痛感します。

私たちが、世界が注目するソウルで、素晴らしいプレイをして良い結果を出し、ふたつの夢を是非実現したいと思います。ひとつは、日本のハンドボールを世界中に認めさせることです。多くの方々の努力と50年の歴史がありながら、残念なことに世界で十分認知されている現状ではありません。ソウルは、日本に対する認識を変える絶好の場だと思います。

もうひとつは、日本のハンドボール関係者、特にハンドボールを一生懸命やっている青少年諸君が、ハンドボールに対する自信と誇りを持ってくれることです。それには、我々がソウルで活躍して、テレビ・新聞のマスコミでもっと話題になることです。ふたつの夢の実現のために頑張りたいと思います。

GK①　井藤英忠

このソウル・オリンピック代表に選出され、またチャンスをいただき、頑張るしかないといった気持ちでいっぱいです。

抱負とは、心中にいだく考えや計画と辞書には書かれてあります。チームの目標は6位入賞という大目標があります。私はそれを達成する為に全身全霊を打ち込み、戦い抜く所存です。自分の実力をすべて出し切るというのはむずかしいとは思いますが、いろいろな状況において確実な悔いの残らないプレーをし、完全燃焼で大会を終わりたいと思いています。

漠然とした抱負となってしまいましたが、とにかく頑張ってきますので、これからもご声援よろしくお願いします。

GK⑫　矢内　浩

今回、オリンピック選手に（15人の中に）入れたことに感激しております。小さな頃からの夢であった、オリンピックが現実になり、感激と不安が入りまじったものがあります。

これからは、全日本チームの目標である6位入賞出来るように、努力し、自分の役割を自覚して、頑張りたいと思います。最後に、これまで共に、合宿や遠征で頑張って来た他の選手の分も、頭に入れて、良い結果を出したいと思います。

GK⑯　橋本行弘

オリンピックアジア予選を終えた時にも、「ソウルに向けての抱負」という題で文章を書いた覚えがあります。その時は、全日本には自分を含めて3人のGKがいたので、他の2人とは違う一種変った、そのうえ魅力があり信頼もあるGKになりたいと書いたと思います。そして今現在はというと、一番自分らしいキーピングをしようと心掛けて練習に取り組んでいます。一番自分らしいキーピングとは、決して諦めない、常に前へ出て積極的にボールにぶかっていくキーピングです。そしてこのキーピングが他の2人とは違う一種変った新しい型になると信じています。

ソウルまであと残りわずかですが、今の自分には、今この時この瞬間を納得の行くよう精一杯プレーして、ソウルでは、「ここまでやったんだ」「もうこれ以上できやしないんだ。」と思えるぐらいにまで頑張りたいと思います。

FP② 西山　清

僕にとって〝ソウル〟は、〝ロス〟に続いて2回目のオリンピックになります。前回のオリンピックでは、自分自身に対する反省ばかりで、結果的にも成果的にも、納得のいくものではありませんでした。特に体のコンディショニングがうまくいかず、本大会では、心身共に、ベストにもって行くことが出来ず、大変不本意な大会で終わりました。この〝ソウル〟では〝ロス〟が終わった時のような気持ちにならないように、本大会に向けて、心身共にベストコンディションにもっていき、自分の身上である〝思い切りのあるプレー〟をやってみたいと思います。また、僕にとって、最後のチャンスが、この〝ソウル〟だと思っていますので、悔いの残らないように、僕の持っている現在のプレーをすべて出し尽くせるよう頑張りたいと思います。

FP③ 山本[illegible]

ソウル・オリンピックも近づき、気持ちの中でも実感が出てきてあと少しというところまできましたが、ソウル・オリンピックではいかに自分のプレーができるかだと思っております。

やはりそれには、精神面の強化と自己管理をしっかりしなければなりません。個人の役割も決まっているので、それに対していかに集中して悔の残らない試合をしたいと思っております。

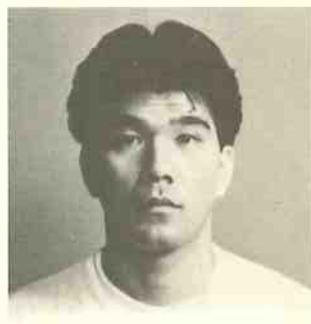
特に攻撃の交替用員として使われていますので、攻撃での負担を少しでも軽くできるようにアシストプレーと、自分がシュートを決めるときに分けて、チームに貢献し6位入賞を目指してがんばります。

FP④ 玉村健次

間近に迫ったソウル・オリンピック、4年前の色々な事が思い出されます。

自分の夢をかなえるため生活環境まで変えハンドボールの頂点を目指そうとした事や、多くの方々からの励ましやアドバイス、また会社の御好意により本場のハンドボールを体験させてもらった事など、この4年間がハンドボール人生で一番充実していたと思います。

そのためにも、この4年間が無駄ではなかったと言えるように、ソウルでは、上位入賞を目指して残り少ない日々を頑張りたいと思います。

FP⑤ 荷川取義浩

ソウル・オリンピックに向けて、全日本チームの目標である6位入賞に貢献できるように、また、私自身納得いけるように精一杯がんばります。子どもの頃からの夢であるオリンピックに出場できるという事で感激しています。すばらしい思い出になるように、残された毎日を、私個人の能力アップに努め、ソウルでは目標が達成できるようにがんばってきます。

FP⑥ 首藤信一

今回、代表に選ばれた事に対し大変嬉しく思っているとともに、今のチームのスタート時を考え、沢山の人が過ぎてゆき、その人たちの事やチームを色々な方面から援助して下さった人たちのためにも悔いのないよう、ソウルで頑張りたいというのが一番の気持ちです。

チーム的には、私はディフェンスから速攻までが主で働いていますが、日本がソウルで良い成績を上げる為には、私たちディフェンス専門の人間が確実に守る事にあると思います。

その上で速攻で得点をふやしていかなければいけないと思います。その為に、フットワーク、フォローディフェンス、リバンド処理、速攻のおし込みに確実さとスピードにみがきをかけ、6位入賞を現実にしたいと考えています。これから残りの日を心身ともに充実させ、本番で頑張りたいと思います。

FP⑦ 藤井　泉

オリンピック。誰もがスポーツをする上で一度は出てみたい夢の祭典。4年に一度の世界の祭典。それが今、現実となって目の前にある。これは、非常に光栄な事であり、やりがいもあり、この上ない幸せでもある。この一生に一度あるかないかのこのチャンスをこの手でつかんだ以上、精一杯がんばって自分のためにも、また、自分を応援してくれている人たちのためにもがんばっていきたい。そのためにも、常に自分の置かれている立場、及びポジションの役割りも考え、納得のいくプレーを心掛け、チームの目標に少しでも協力できるよう努力していきたい。

FP⑧ 高村誠一

今回、ソウル五輪代表選手に選ばれ、非常にうれしく思っています。

現在、チームの状態も非常に良く、今までほとんど歯の立たなかった強豪にも「どうにかすれば勝てそうだ」という手ごたえを感じるようになりました。当初の目標である6位入賞を果たすために、全員で力を合わせ頑張っていきたいと思います。

私個人としては、精神的プッシャーをはねのけ、自分に与えられた役割を十分果たす事によってチームに貢献するとともに、自分が今までやってきたハンドボールを、すべて出しきるつもりで、一生懸命頑張ってきたいと思います。

FP⑨ 立木浩二

スポーツの祭典『オリンピック』、あと2ケ月余りで我々の最終目標であったソウル・オリンピックが開催される。現在のチームの状態は最高であり、アイスランド、ユーゴスラビアなどと試合をするたび、力を増している感じがする。ディフェンスも、高位置での3・2・1ディフェンスを基本に安定してきている。オフェンス面では、両45度中心に多彩なパターンを使い、コンスタントに点が取れるようになった。

私自身としては、試合中のムード、ペースを大切に保ち、攻撃パターンの徹底を図っていきたい。ユーゴスラビアを破った勢い、闘志を持ち、ソウルへ乗り込もう。

『6位入賞』、決して無理ではないと思う。1試合ずつ集中し、持っているすべての力を出し切って、一つでも多く勝ち星をあげたい。ソウルで4年間のパワーを爆発させたい。

FP⑩ 田口 隆

私がソウル・オリンピック日本代表選手に選ばれてまず思った事は、周囲の期待を裏切らないようにしなければいけないと思いました。そのためにも、今までトレーニングしてきた力を百パーセント以上発揮できるよう、コンディション作りから頭のトレーニングに至る色々な事を再チェックして本番に挑みたいと思っています。幸いにも、先頃行なわれた〝ユーゴカップ〟でもヨーロッパのチームと互角に戦う事も出来、チームの調子も上昇中なので、このペースで本番には、私たちの目標である6位入賞を目指し戦うつもりです。

FP⑪ 宮下和

はっきり言って、オリンピックに自分が出場するなんて、まだ信じられませんが、新聞・雑誌・また、会社の皆さんが「もう少しだね」とか、「ケガだけは絶対するな」とか言って声をかけてくれる回数が増えて来たこともあって、オリンピックに出場するのだななんて、少しずつですが、自分の中でも、意識が、高まって来た次第です。とにかく、あと2カ月余りですが、チームの目標である6位入賞に向けて、チーム一丸となって、トレーニングに励み、ソウルでは悔いのないように、そしてチームにとって、プラスの選手になれるよう頑張ります。

FP⑬ 奥田新治

私が全日本に選ばれて約4年が過ぎ、色々な人たちの励ましや指導のもとで今日までプレーする事が出来たと思っているし、全日本活動を行なってきて、会社の人たち、特に、同じ課の人たちには大変迷惑をかけてきたので、その人たちのためにも、オリンピックでは良い成績を残せるよう努力して行きたいし、チームの目標である、6位入賞はもとより、より上位を目指し、残り少ない日々を大切にしてこの4年間が無駄で終わる事のないよう悔いの残らないようにプレーしたいと思います。

FP 山村敏之

「私にとってオリンピックは小さい時からの夢」と言えば、かっこいいのですが、ハンドボールと出会って8年、その間、オリンピックはもちろんのこと、日本代表というものにも全く無関係の世界であると思ってきました。

しかし、オリンピックの事を意識しはじめたのは87年4月、私が初めてナショナルチームに入った頃からでした。そして、現実にソウル五輪メンバーに選ばれた今、やはり本大会では8年間で得た自分の力を日本のためにすべて出し切り、私たちの大目標である6位入賞を夢で終わらせないよう勝つために精一杯頑張りたいと思います。それと、ソウル・オリンピックに参加することによって、自分にプラスになることは、すべて貪欲に学び、吸収して、一まわりも二まわりも大きくなれたらと思います。

ソウルオリンピック壮行試合

全日本男子"王者"ユーゴを倒す!!

ロサンゼルス・オリンピックで金メダルを獲得したユーゴスラビア男子ナショナル・チームを迎えて、7月2日から7日まで、4会場で4試合、全日本男子チームのオリンピック壮行試合が行なわれた。

5月のヨーロッパ遠征ですっかり自信をつけた全日本チームは、地元に強豪を迎えて闘志あふれるプレーを見せ、第1戦から3戦まで、惜しくも敗れはしたが大熱戦を展開、王者・ユーゴをおおいに苦しめた。

そして7月7日に行なわれた愛知・枇杷島スポーツセンターの試合で、見事25−21と粘るユーゴを突き放して19年ぶりの勝利を飾った。世界チャンピオンを破ったこの1勝は、ソウル・オリンピックで上位入賞を目ざす全日本チームにとっては何よりの"活力剤"で、目標を入賞からメダルへと切り替えて、ソウルへ臨むこととなった。

◇第1戦（7月2日／千葉県総合運動場体育館）

ユーゴ28（13−11 / 15−14）25日本

◇第2戦（7月3日／東京・青山学院記念館）

ユーゴ25（14−11 / 11−9）20日本

◇第3戦（7月6日／岐阜県民体育館）

ユーゴ30（16−13 / 14−12）25日本

◇最終戦（7月7日／愛知・枇杷島スポーツセンター）

日本25（11−8 / 14−13）21ユーゴ

【7月2日】

得	〔ユーゴ〕		〔日本〕	得
0	ブシュニク	GK	井藤	0
0	バシッチ	GK	矢内	0
0	ベリッチ	GK	橋本	0
2	ルニッチ	FP	西山	0
0	サラセビッチ	FP	山本	0
1	ブッチ	FP	玉村	6
1	ベルコバッチ	FP	荷川取	0
0	スマイルジッチ	FP	首藤	0
15	ポートナー	FP	藤井	5
4	ブヨビッチ	FP	高村	5
4	ヤラック	FP	立木	1
0	ナチノヴィチ	FP	田口	0
4	ピロキチ	FP	宮下	7
1	メミッチ	FP	奥田	0
		FP	山村	1
28	(7)	PT	(3)	25

（審・金昌勲 高光錫）

【7月3日】

得	〔ユーゴ〕		〔日本〕	得
0	ブシュニク	GK	井藤	0
0	バシッチ	GK	矢内	0
0	ベリッチ	GK	橋本	0
3	ルニッチ	FP	西山	2
0	サラセビッチ	FP	山本	0
4	ブッチ	FP	玉村	8
3	ペルコバッチ	FP	荷川取	0
0	スマイルジッチ	FP	首藤	2
6	ポートナー	FP	藤井	0
4	ブヨビッチ	FP	高村	0
4	ヤラック	FP	立木	3
1	ナチノヴィチ	FP	田口	1
0	ピロキチ	FP	宮下	3
0	メミッチ	FP	奥田	1
		FP	山村	0
25	(7)	PT	(2)	20

（審・金昌勲 高光錫）

【7月6日】

得	〔ユーゴ〕		〔日本〕	得
0	ブシュニク	GK	井藤	0
0	バシッチ	GK	矢内	0
0	ベリッチ	GK	橋本	0
1	ルニッチ	FP	西山	3
1	サラセビッチ	FP	山本	2
2	ブッチ	FP	玉村	5
2	ペルコバッチ	FP	荷川取	0
0	スマイルジッチ	FP	首藤	2
13	ポートナー	FP	藤井	0
7	ブヨビッチ	FP	高村	1
0	ヤラック	FP	立木	3
2	ナチノヴィチ	FP	田口	2
1	ピロキチ	FP	宮下	4
1	メミッチ	FP	奥田	0
		FP	山村	3
30	(5)	PT	(2)	25

（審・金昌勲 高光錫）

【7月7日】

得	〔日本〕		〔ユーゴ〕	得
0	井藤	GK	ブシュニク	0
0	矢内	GK	バシッチ	0
0	橋本	GK	ベリッチ	0
4	西山	FP	ルニッチ	4
1	山本	FP	サラセビッチ	0
7	玉村	FP	ブッチ	3
0	荷川取	FP	ペルコバッチ	2
0	首藤	FP	スマイルジッチ	1
2	藤井	FP	ポートナー	6
3	高村	FP	ブヨビッチ	2
2	立木	FP	ヤラック	1
0	田口	FP	ナチノヴィチ	1
2	宮下	FP	ピロキチ	1
0	奥田	FP	メミッチ	0
25	(4)	PT	(6)	21

（審・金昌勲 高光錫）

議題Ⅳ　ソウルオリンピック選手団（役員）について

選手団役員について、原案どおり監督に野田　清、コーチに津川　昭、支援コーチ（内定）として佐藤要二、塙　敏、の諸氏が承認された。

その他議題

1．ソウルオリンピック選手団（選手）について
　原案（当日配布資料）メンバーどおり了承された。
2．女子ナショナル、女子ジュニアナショナル選手について
　原案（当日配布資料）メンバーどおり了承された。
3．国際試合（来日）について
　外国チーム来日に伴う国際試合の開催計画について了承された。
◎東洋証券五輪壮行試合（ユーゴ対男子ナショナル）
　7/2(千葉)7/3(東京)7/6(岐阜)7/7(名古屋)
◎ハンガリー(スパルタカス・ブタペスト)対女子ナショナル国際試合
　7/13(横浜)7/16(仙台)
◎スイス(ATV-バーゼルスタッド)来日国際試合
　7/ 6(東京)　中村荷役、JUKI
　7/ 9(豊田)　トヨタ自動車、ブラザー工業
　7/12(京都)　京都選抜男子、女子
　7/14(熊本)　本田技研熊本、立石電機山鹿
4．国際試合（遠征）について
　国際試合への派遣計画について了承された。
◎第24回オリンピック（ソウル）
　9/15～10/3男子ナショナル
◎第1回ユースアジア選手権
　8/2～8/18　男子ジュニアナショナル
　団長に伊藤常務理事が委任された。
◎中国からの招待試合
　詳細不明であるが前向きに計画をつめる。
5．第1回全国小学生大会について
　8/17日から8/20日まで京都府田辺町で開催される第1回全国小学生大会の連絡事項について、伊藤常務理事より報告した。
6．ＡＨＦ関係について
◎ＡＨＦ役員・理事の候補に荒川副会長をＡＨＦに推薦した。
◎ＡＨＦ審判委員に大塚常務理事を登録申請した。
◎ＡＨＦ機関紙委員に川上常務理事を登録申請した。
7．ボール検定について
　ハンドボール用ボールの種類はカラーボール、縫いボール等の普及で近年多様化の傾向にあり、これらに対応するため、従来の検定規程をボールの種類ごとの検定規程に改訂することについて、安藤専務理事より、当日配布資料により説明した。
　原案どおり、全員の了承を得た。
8．全国大会への派遣役員について
　以上にて議事のすべてを終了した。

昭和63年度
第1回評議員会議事録

日　時　　昭和63年7月9日(土)10：00～12：30
場　所　　岸記念体育館　　301号会議室
出席者（敬称略）
箱崎敬吉(岩手)　高橋善幸(宮城)　高橋　潔(群馬)　浮谷貞雄(千葉)　岡村昭二(東京)　山田馨(新潟)　村井輝邦(石川)　華立　要(福井)　吉田定静(静岡)　上妻忠夫(岐阜)　尾本和男(滋賀)　小西博喜(京都)　神田　清(大阪)　松原紀機(鳥取)　松原　忠(香川)　以上出席15名　欠席37名
(内委任状25名)

執行部出席者
荒川清美、安藤純光、塩川安賢、滝口三郎、川上整司、大野金一、北川勇喜、大塚文雄、西村亮治、松本重雄、以上出席10名、欠席6名

出席者、委任状合計40名となり、定足数35名を越え会議は成立。

議題Ⅰ　62年度事業報告並びに決算について

安藤専務理事より62年度事業報告について、当日配布資料（62年度事業報告書）により総括して説明した。

ついで、滝口常務理事より62年度収支決算案について、送付済資料（収支計算書案）により詳細説明した。

松本監事より監査結果について、適正妥当であるとの報告があった。

収支決算報告は、もっと判り易く説明するようにとの意見があり、今後改善していくこととした。

62年度事業報告並びに決算について、原案どおり全員異議無く承認。

議題Ⅱ　63年度補正予算について

安藤専務理事より、63年度4月以降の事業経過について報告、説明があった。

ついで、滝口常務理事より、63年度補正予算について、送付済み資料（63年度第一次補正予算案）により詳細説明した。

今回の補正は、63年度日体協委託金内示に伴う特別会計予算の補正が主な内容である。

63年度補正予算について、原案どおり全員異議無く承認された。

その他議題

※6月18日の第1回理事会の議題Ⅲ、その他議題1～7と同様報告が行なわれ、承認された。

昭和63年度
第１回理事会議事録

日　時　　昭和63年６月18日(土)13：00～17：00
場　所　　岸記念体育館　　401号会議室
出席者（敬称略）

荒故清美、安藤純光、塩川安賢、滝口三郎、川上整司、大野金一、伊藤和夫、北川勇喜、阿部徳之助、大塚文雄、西村亮治、清水　正、光島磯雄、藤田八郎、山田　稔、中沢重夫、佐野和夫、中村　崇、竹野秀樹、河本武夫、柳井文治、富永　劭、松本重雄、

出席者23名、欠席７名にて会議の成立を確認。

議題Ⅰ　62年度事業報告並びに決算について

安藤専務理事より62年度事業報告について、当日配布資料（62年度事業報告書）により総活して説明した。

ついで、滝口常務理事より62年度収支決算案について、送付済資料（収支計算書案）により詳細説明した。

松本監事より監査結果について報告した。

62年度事業報告並びに決算について、原案どおり全員異議無く承認された。

議題Ⅱ　63年度補正予算について

安藤専務理事より、63年度４月以降の事業経過について報告、説明があった。

ついで、滝口常務理事より、63年度補正予算について、送付済み資料（63年度第一次補正予算案）により詳細説明した。

今回の補正は、63年度日体協委託金内示に伴う特別会計予算の補正が主な内容である。

63年度補正予算について、原案どおり全員異議無く承認された。

議題Ⅲ　競技者資格規程の制定について

かねてより懸案の日本ハンドボール協会競技者資格規程について、大野常務理事より、送付済み資料（日本ハンドボール協会競技者資格規程案）により説明した。

この規程は、日体協が制定した『スポーツ憲章』の趣旨を受けて、競技者がアマチュアスポーツマンとして守らなければならない事項、及びこれに関連した事項について規定することを目的として制定するもので、これにより従来の日本ハンドボール協会アマチュア規程は廃止となる。

原案どおり全員異議無く承認。７月９日の評議員会にはかり、実施する。

第2回 女子JHLカップ

86.6/10～12

東地区

北国銀行 26（10－13, 16－11）24 JUKI

得	〔北国〕		〔JUKI〕	得
0	木戸	GK	大角	0
0	岩井	GK		
1	上田	FP	石井	0
2	林	FP	佐藤	2
2	丹後	FP	上田	1
2	松田	FP	嶋田	3
4	北川真	FP	内山	1
5	川崎	FP	樋口	0
0	塙	FP	伊原	3
3	北川静	FP	柴崎	0
6	金	FP	古谷	13
1	森	FP	大林	1
0	鈴木	FP		
0	宮本	FP		
26	(3)	PT	(3)	21

〔審・島田 酒井〕

日立栃木 24（12－12, 12－9）21 JUKI

得	〔日立〕		〔JUKI〕	得
0	岡本	GK	大角	0
0	梅津	GK		
1	菅原	FP	石塚	0
5	神永	FP	石井	0
0	柳田	FP	佐藤	8
5	山岸	FP	上田	1
2	尾苗	FP	嶋田	0
2	中村	FP	内山	1
0	繁在家	FP	樋口	0
2	岡田	FP	伊原	2
6	新井	FP	柴崎	0
1	吉鶴	FP	古谷	6
0	飯塚	FP	大林	3
0	堤	FP		
0	貫田	FP		
24	(5)	PT	(2)	21

〔審・溝口 稲石〕

大崎電気 25（14－13, 11－7）20 北国銀行

得	〔大崎〕		〔北国〕	得
0	佐々木	GK	木戸	0
0	宗片	GK	岩井	0
2	森田	FP	上田	0
7	松尾	FP	林	5
0	須永	FP	丹後	1
1	前川	FP	松田	4
1	梅原	FP	北川真	5
5	江口	FP	川崎	1
4	野田	FP	塙	0
3	鈴木	FP	北川静	3
0	金	FP	金	0
2	福井	FP	森	0
0	尹	FP	鈴木	0
0	香川	FP	宮本	1
0	小松沢	FP		
25	(3)	PT	(4)	20

〔審・楓 渡辺〕

日本ビクター 17（10－9, 7－8）17 日立栃木

得	〔日ビ〕		〔日立〕	得
0	小口	GK	岡本	0
0	高橋	GK	梅津	0
0	武藤	FP	菅原	0
4	長田	FP	神永	1
3	枝川	FP	神長	0
0	平松	FP	柳田	0
3	根本	FP	山岸	2
1	太田	FP	尾苗	4
1	松井	FP	中村	4
0	永岡	FP	繁在家	0
3	中村	FP	岡田	2
2	山之内	FP	新井	3
0	下條	FP	吉鶴	0
0	工藤	FP	飯塚	1
		FP	貫田	0
17	(1)	PT	(5)	17

〔審・浜田 小笠原〕

日立栃木 21（11－9, 10－6）15 大崎電気

得	〔日立〕		〔大崎〕	得
0	岡本	GK	佐々木	0
0	梅津	GK	宗片	0
0	菅原	FP	森田	1
2	神永	FP	松尾	6
0	神長	FP	須永	0
0	柳田	FP	前川	0
6	山岸	FP	梅原	2
1	尾苗	FP	江口	2
3	中村	FP	野田	2
0	繁在家	FP	鈴木	1
3	岡田	FP	金	0
0	石毛	FP	福井	1
4	新井	FP	尹	0
1	吉鶴	FP	香川	0
1	飯塚	FP	小松沢	0
21	(2)	PT	(4)	15

〔審・切通 大村〕

JUKI 23（12－12, 11－5）17 大崎電気

得	〔JUKI〕		〔大崎〕	得
0	大角	GK	佐々木	0
		GK	宗片	0
0	石塚	FP	森田	3
0	石井	FP	松尾	6
7	佐藤	FP	須永	0
0	上田	FP	前川	1
0	嶋田	FP	梅原	0
2	内山	FP	江口	1
0	樋口	FP	野田	0
1	伊原	FP	鈴木	6
0	柴崎	FP	金	0
10	古谷	FP	福井	0
3	大林	FP	尹	0
		FP	香川	0
		FP	小松沢	0
23	(3)	PT		17

〔審・佐藤 本田〕

日本ビクター 21（13－9, 8－5）14 北国銀行

得	〔日ビ〕		〔北国〕	得
0	小口	GK	木戸	0
0	高橋	GK	岩井	0
0	武藤	FP	上田	0
4	長田	FP	林	1
3	枝川	FP	丹後	1
0	下條	FP	松田	2
1	平松	FP	北川真	3
2	根本	FP	川崎	2
5	太田	FP	塙	0
2	松井	FP	北川静	2
0	永岡	FP	金	1
2	中村	FP	森	2
2	山之内	FP	鈴木	0
		FP	宮本	0
21	(2)	PT	(2)	14

〔審・高田 遠藤〕

日本ビクター 29（15－10, 14－5）15 大崎電気

得	〔日ビ〕		〔大崎〕	得
0	小口	GK	佐々木	0
0	高橋	GK	宗片	0
0	武藤	FP	森田	2
10	長田	FP	松尾	1
3	枝川	FP	須永	0
0	下條	FP	前川	0
3	平松	FP	梅原	3
3	根本	FP	江口	3
2	太田	FP	野田	0
1	松井	FP	鈴木	2
3	永岡	FP	金	0
3	中村	FP	福井	4
1	山之内	FP	尹	0
		FP	香川	0
		FP	小松沢	0
29	(3)	PT	(3)	15

〔審・不明〕

北国銀行 19（8－5, 11－10）15 日立栃木

得	〔北国〕		〔日立〕	得
0	木戸	GK	岡本	0
0	岩井	GK	梅津	0
0	上田	FP	菅原	0
3	林	FP	神永	3
1	丹後	FP	神長	0
7	松田	FP	柳田	0
4	北川真	FP	山岸	1
1	川崎	FP	尾苗	4
1	塙	FP	中村	0
1	北川静	FP	繁在家	0
1	金	FP	岡田	1
0	森	FP	石毛	1
0	鈴木	FP	新井	5
0	宮本	FP	吉鶴	0
		FP	飯塚	0
19	(1)	PT	(2)	15

〔審・池田 小林〕

日本ビクター 20（11－9, 9－6）15 JUKI

得	〔日ビ〕		〔JUKI〕	得
0	小口	GK	大角	0
0	高橋	GK		
0	武藤	FP	石塚	0
8	長田	FP	石井	0
4	枝川	FP	佐藤	6
0	下條	FP	上田	0
4	平松	FP	嶋田	0
0	根本	FP	内山	0
1	太田	FP	樋口	0
1	松井	FP	伊原	0
0	永岡	FP	柴崎	0
2	中村	FP	古谷	6
0	山之内	FP	大林	3
20	(3)	PT	(2)	15

〔審・不明〕

〔東地区成績〕

①日本ビクター
②日立栃木
③北国銀行
④JUKI
⑤大崎電気

西地区

ジャスコ 27（13－13, 14－8）21 ブラザー工業

得	〔ジャ〕		〔ブ工〕	得
0	吉田	GK	大藪	0
0	小林	GK	岡本	0
3	服部	FP	荒木	0
5	佐々木	FP	末永	4
1	石田	FP	原田	1
1	近藤	FP	坂倉	7
2	池田美	FP	道上	5
5	渡辺	FP	松尾	0
1	常石	FP	野田	3
1	武田	FP	田中	0
3	池田久	FP	進藤	0
1	東出	FP	小栗	0
1	稲田	FP	香井	0
0	今井	FP	甲斐	1
3	王	FP		
27	(5)	PT	(3)	21

〔審・日比 川合〕

ソニー国分 18〔9―8／9―10〕18 大和銀行

得	〔ソニー〕		〔大和〕	得
0	阿多石	GK	増見	0
0	山元		坂口	0
0	斜木	FP	丸田	0
0	野角		赤瀬	0
0	宮原		上村	0
0	白石		小池	9
1	山口		藤本	0
5	藤元		喪川	5
2	楠本		木瀬	1
4	当房		平井	2
6	永尾		松田	1
0	原崎		高尾	0
18	(4)	PT	(1)	18

審・秋山

立石電機山鹿 18〔6―10／12―7〕17 シャトレーゼ

得	〔立石〕		〔シャト〕	得
0	岡本	GK	丸山	0
0	川島		工藤	0
0	山口	FP	千葉	0
0	江口		嶋崎	3
0	田中		海道	8
1	横田		松沢	0
5	橋本		黒沼	2
4	武津		小林	0
2	中山		小野寺	0
0	毛利		江原	2
1	斉藤		生方	2
2	比嘉		山岸	0
3	石村		井出	0
0	吉田		小俣	0
0	上田		宇宿	0
18	(2)	PT	(8)	17

審・楓 渡辺

シャトレーゼ 23〔11―6／12―9〕15 ソニー国分

得	〔シャト〕		〔ソニー〕	得
0	丸山	GK	阿多石	0
0	高原		山元	0
0	工藤	FP	斜木	0
0	星野		野角	0
1	嶋崎		宮原	3
3	海藤		白石	0
4	松沢		山口	0
1	星沼		藤元	7
0	小林		楠本	0
0	小野寺		当房	0
1	江原		永尾	5
4	生方		尾崎	0
9	山岸			
0	野沢			
0	宇宿			
23	(5)	PT	(0)	15

審・岩永 秋山

ブラザー工業 24〔9―7／15―10〕17 大和銀行

得	〔ブ工〕		〔大和〕	得
0	大藪	GK	増見	0
0	岡本		坂口	0
0	荒木	FP	丸田	0
4	末永		赤瀬	0
0	原田		上村	0
10	坂倉		小池	1
6	道上		藤本	0
0	松尾		喪川	6
3	野田		木瀬	1
0	田中		平井	4
0	進藤		松田	4
1	小栗		高尾	1
24	(5)	PT	(3)	17

審・野久 今井田

ジャスコ 32〔21―6／11―11〕17 ソニー国分

得	〔ジャ〕		〔ソニー〕	得
0	吉田	GK	阿多石	0
0	小林		山元	0
1	服部	FP	斜木	0
4	佐々木		野角	1
0	石田		宮原	1
4	近藤		白石	0
1	池田美		山口	3
13	渡辺		藤元	4
0	常石		楠本	3
3	武田		当房	2
2	池田久		永尾	3
0	寿系		原崎	0
1	稲田			
3	今井			
0	小沼			
32	(4)	PT	(0)	17

審・天神 藤沢

立石電機山鹿 24〔14―9／10―10〕19 ブラザー工業

得	〔立石〕		〔ブ工〕	得
0	岡本	GK	大藪	0
0	川島		岡本	0
0	山口	FP	荒木	0
2	山内		末永	4
0	江口		原田	1
0	横田		坂倉	5
3	橋本		道上	2
4	武津		松尾	1
7	中山		野田	3
0	毛利		田中	0
2	斉藤		進藤	0
6	比嘉		小栗	0
0	古田		香井	0
0	上田		甲斐	0
24	(3)	PT	(4)	19

審・中森 薮内

シャトレーゼ 20〔12―8／8―7〕15 ジャスコ

得	〔シャト〕		〔ジャ〕	得
0	丸山	GK	小深田	0
0	工藤		吉田	0
0	千葉	FP	服部	2
0	星野		佐々木	2
6	嶋崎		石田	0
6	海道		近藤	2
1	松沢		池田	1
0	黒沼		渡辺	1
0	小林		常石	0
2	小野寺		川井	0
1	江原		武田	2
0	生方		東出	0
4	山岸		稲田	0
0	井出		今井	0
0	小俣		王	5
20	(6)	PT	(1)	15

審・今井田 野久

立石電機山鹿 20〔7―9／13―8〕17 大和銀行

得	〔立石〕		〔大和〕	得
0	岡本	GK	増見	0
0	川島		坂口	0
1	山口	FP	丸田	0
0	山内		赤瀬	0
0	江口		上村	0
0	横田		小池	1
4	橋本		藤本	0
4	武津		喪川	4
5	中山		木瀬	2
1	毛利		平井	4
2	斉藤		松田	4
1	比嘉		高尾	2
1	古田			
1	上田			
20	(5)	PT	(0)	17

審・畑中 桐下

立石電機山鹿 21〔10―13／11―6〕19 ソニー国分

得	〔立石〕		〔ソニー〕	得
0	岡本	GK	阿多石	0
0	川島		山元	0
0	山口	FP	斜木	0
0	山内		野角	0
0	江口		宮原	1
0	横田		白石	0
8	橋本		山口	5
1	武津		藤元	6
4	中山		楠本	3
0	毛利		当房	1
3	斉藤		永尾	3
5	比嘉		原崎	0
0	古田			
0	上田			
21	(0)	PT	(4)	19

審・岩本 楓

シャトレーゼ 15〔7―7／8―5〕12 ブラザー工業

得	〔シャト〕		〔ブ工〕	得
0	丸山	GK	大藪	0
0	高原			
0	工藤	FP	荒木	4
0	星野		末永	2
0	嶋崎		原田	0
4	海道		坂倉	3
2	松沢		道上	1
2	黒沼		松尾	0
0	小林		進藤	0
2	小野寺		小栗	0
1	生方		野田	2
4	山岸		岡本	0
0	井出		香井	0
0	野沢		甲斐	0
0	浅田			
15	(2)	PT	(2)	12

審・夏目 松ケ谷

ジャスコ 25〔11―10／14―8〕18 大和銀行

得	〔ジャ〕		〔大和〕	得
0	小深田	GK	増見	0
0	小林		坂口	0
1	服部	FP	丸田	0
3	佐々木		赤瀬	0
0	石田		上村	0
1	近藤		小池	5
0	池田美		藤本	0
1	渡辺		喪川	3
1	常石		木瀬	4
3	川井		平井	0
7	武田		松田	5
4	池田久		高尾	1
1	稲田			
2	今井			
1	王			
25	(3)	PT	(3)	18

審・畑中 桐下

ブラザー工業 17〔8―7／9―7〕14 ソニー国分

得	〔ブ工〕		〔ソニー〕	得
0	大藪	GK	阿多石	0
0	岡本		山元	0
2	荒木	FP	斜木	0
1	末永		野角	0
3	原田		宮原	1
5	坂倉		白石	0
5	道上		山口	1
1	松尾		藤元	4
0	野田		楠本	2
0	田中		当房	4
0	進藤		永尾	2
			原崎	0
17	(2)	PT	(2)	14

審・吉田 川合

ジャスコ 21〔11―7／10―12〕19 立石電機山鹿

得	〔ジャ〕		〔立石〕	得
0	小深田	GK	岡本	0
0	吉田		川島	0
5	服部	FP	山口	0
0	佐々木		山内	1
2	石田		江口	0
5	近藤		横田	0
0	池田美		橋本	6
4	渡辺		武津	2
2	川井		中山	4
0	武田		毛利	0
2	池田久		斉藤	1
0	東出		比嘉	5
0	寿系		古田	0
0	今井		上田	0
1	王			
21	(2)	PT	(4)	19

審・畑中 桐下

シャトレーゼ 24〔9―5／15―10〕15 大和銀行

得	〔シャト〕		〔大和〕	得
0	丸山	GK	増見	0
0	千葉		坂口	0
4	嶋崎	FP	丸田	0
9	海道		赤瀬	0
2	松沢		上村	0
0	黒沼		小池	2
0	小林		藤本	0
3	小野寺		喪川	4
0	江原		木瀬	6
1	生方		平井	0
2	山岸		松田	0
2	井出		高尾	3
0	小俣			
0	野沢			
1	浅田			
24	(4)	PT	(1)	15

審・不明

〔西地区成績〕

①シャトレーゼ
②立石電機山鹿
③ジャスコ
④ブラザー工業
⑤大和銀行
⑥ソニー国分

各地学生春季リーグ戦

関西学生春季リーグ戦

▼男子1部

大体大 36 (17-9, 19-6) 15 京教大
大経大 35 (21-15, 14-12) 27 天理大
京産大 31 (15-7, 16-4) 11 大教大
大教大 32 (17-8, 15-9) 17 京教大
京産大 27 (13-9, 14-13) 22 天理大
同大 32 (17-10, 15-7) 17 大教大
大経大 20 (12-8, 8-9) 17 同大
大体大 19 (9-6, 10-11) 17 同大
大経大 25 (14-13, 11-6) 19 京産大
天理大 36 (15-12, 21-8) 20 大教大
大体大 35 (17-11, 18-12) 23 天理大
大体大 28 (14-6, 14-11) 17 京産大
京教大 22 (13-7, 9-14) 21 天理大
同大 24 (13-9, 11-4) 13 京教大
大経大 36 (18-15, 18-8) 23 大教大
同大 30 (13-16, 17-9) 25 天理大
京産大 33 (19-15, 14-6) 21 京教大
大体大 37 (18-6, 19-5) 11 大教大
大教大 29 (16-9, 13-10) 19 京教大
同大 25 (13-12, 12-13) 25 京産大
大体大 28 (15-9, 13-10) 19 大経大

〔順位〕①大体大（6勝）②大経大（5勝1敗）③同大（3勝1分2敗）④京産大（3勝1分2敗）⑤天理大（1勝5敗）⑥京教大（1勝5敗）⑦大教大（1勝5敗）
※3、4位、5～7位は得失点差による。

▼男子2部

桃山大 33-15 神戸大
桃山大 20-15 近大
桃山大 14-13 関大
桃山大 29-19 阪大
桃山大 32-18 大府大
桃山大 29-16 甲南大
関大 22-7 神戸大
関大 17-15 近大
関大 22-19 阪大
関大 22-5 大府大
関大 32-14 甲南大
近大 35-14 神戸大
近大 27-14 阪大
近大 29-13 大府大
近大 34-27 甲南大
阪大 30-24 神戸大
阪大 27-26 甲南大
神戸大 27-23 大府大
神戸大 27-24 甲南大
甲南大 28-22 大府大
大府大 23-22 阪大

〔順位〕①桃山学院大②関西大③近畿大④大阪大⑤神戸大⑥甲南大⑦大阪府立大

▼男子3部

関外大 28-25 大市大
関外大 29-17 関学大
関外大 28-16 立命大
関外大 47-16 京工大
関外大 26-18 京都大
関外大 27-17 和歌山大
京都大 18-17 大市大
京都大 32-22 関学大
京都大 26-21 立命大
京都大 25-10 京工大
京都大 17-8 和歌山大
立命大 31-19 大市大
立命大 32-15 関学大
立命大 23-13 京工大
立命大 28-21 和歌山大
和歌山大 12-11 大市大
和歌山大 29-22 京工大
大市大 19-17 関学大
大市大 35-27 京工大
京工大 32-28 関学大
関学大 26-24 和歌山大

〔順位〕①関西外国語大②京都大③立命館大④和歌山大⑤大阪市立大⑥京都工芸繊維大⑦関西学院大

▼男子4部

龍谷大 21-21 大院大
龍谷大 39-20 追手門大
龍谷大 30-24 仏教大
龍谷大 40-18 奈教大
龍谷大 25-15 大工大
龍谷大 36-17 兵教大
仏教大 32-27 大院大
仏教大 49-32 追手門大
仏教大 42-30 奈教大
仏教大 31-25 大工大
仏教大 46-25 兵教大
大院大 30-17 追手門大
大院大 42-11 奈教大
大院大 23-10 大工大
大院大 31-15 兵教大
大工大 24-21 追手門大
大工大 31-15 奈教大
大工大 27-12 兵教大
奈教大 23-23 追手門大
奈教大 28-26 兵教大
共教大 18-17 追手門大

〔順位〕①龍谷大②仏教大③大阪学院大④大阪工業大⑤奈良教育大⑥兵庫教育大⑦追手門学院大

▼男子5部

滋賀大 33-24 奈良大
滋賀大 28-14 八代大
滋賀大 19-18 神院大
滋賀大 28-17 神商大
滋賀大 27-15 京府大
滋賀大 19-16 大産大
大産大 23-18 奈良大
大産大 25-10 八代大
大産大 22-17 神院大
大産大 22-17 神商大
大産大 27-11 京府大
神院大 32-16 奈良大
神院大 40-12 八代大
神院大 27-20 神商大
神院大 35-18 京府大
神商大 32-25 奈良大
神商大 32-16 八代大
神商大 36-28 京府大
奈良大 45-23 八代大
奈良大 34-18 京府大
京府大 25-19 八代大

〔順位〕①滋賀大②大阪産業大③神戸学院大④神戸商般大⑤奈良大⑥京都府立大⑦八代学院大

▼男子6部

大歯大 26-20 大薬大
大歯大 23-11 京外大
大歯大 24-19 姫工大
姫工大 26-19 京外大
京外大 18-15 大薬大
大薬大 18-15 姫工大

〔順位〕①大阪歯科大②姫路工業大③大阪薬科大④京都外語大

▼女子1部

武庫川大 28 (13-6, 15-4) 10 関外大

天理大 19（10－11、9－6）17 京教大
大体大 26（13－8、13－4）12 成蹊大
京教大 11（3－5、8－3）8 関外大
武庫川大 20（11－6、9－1）7 大教大
武庫川大 33（10－6、23－1）7 成蹊大
天理大 22（8－8、14－6）14 大教大
大体大 28（0－9、18－4）13 関外大
大教大 19（8－4、11－7）11 関外大
天理大 29（14－5、15－2）7 成蹊大
京教大 10（5－5、5－3）8 成蹊大
大体大 23（10－4、13－6）10 大教大
天理大 30（16－4、14－5）9 関外大
武庫川大 22（15－7、7－4）11 天理大
大体大 23（10－4、13－6）10 大教大
大教大 28（12－9、16－6）15 成蹊大
武庫川大 33（16－5、17－2）7 京教大
大体大 20（10－4、10－8）12 天理大
成蹊大 21（8－11、13－9）20 関外大
大体大 25（16－8、9－10）18 京教大
武庫川大 21（12－6、9－5）11 大教大

（順位）①武庫川大（6勝）②大体大（5勝1敗）③天理大（4勝2敗）④大教大（3勝3敗）⑤京教大（2勝4敗）⑥成蹊大（1勝5敗）⑦関外大（6敗）

▼女子2部

関学大 29－13 関大
関学大 24－13 和歌山大
関学大 22－4 滋賀大
関学大 21－12 仏教大
関学大 24－6 奈女大
関学大 33－8 大薬大
和歌山大 22－16 関大
和歌山大 13－10 滋賀大
和歌山大 20－6 仏教大
和歌山大 23－7 奈女大
和歌山大 17－6 大薬大
関大 20－6 滋賀大
関大 16－9 仏教大
関大 24－4 奈女大
関大 14－10 大薬大
仏教大 9－6 滋賀大
仏教大 18－11 大薬大
大薬大 20－16 滋賀大
大薬大 14－11 奈女大
滋賀大 15－8 奈女大
奈女大 16－15 仏教大

（順位）①関西学院大②和歌山大③関西大④仏教大⑤大阪薬科大⑥滋賀大⑦奈良女子大

▼女子3部Aグループ

神戸大 22－7 京府大
神戸大 19－3 立命大
神戸大 28－4 追手門大
立命大 10－8 京府大
立命大 29－8 追手門大
京府大 15－6 追手門大

▼女子3部グループ

京女大 17－11 奈教大
京女大 37－8 園田大
京女大 30－8 大外大
奈教大 16－7 園田大
奈教大 29－5 大外大
園田大 13－13 大外大

（順位）①神戸大②京都女大③奈良教大④立命館大⑤京都府立大⑥園田学園女大⑦追手門学院大⑧大阪外語大※順位決定戦による。

北信越学生春季リーグ戦

（6月4、5、11、12日／金沢美術工芸大学体育館）

〈男子〉

▼1部

金沢 24－17 金沢工
金沢 18－17 信州
福井 20－19 金沢工
富山 20－14 信州
金沢 26－13 福井
金沢工 21－19 富山
信州 25－20 金沢工
福井 16－15 富山
福井 19－16 信州
金沢 26－11 富山

（順位）①金沢大②福井大③信州大④金沢工大⑤富山大

▼2部・Aリーグ

金沢医 28－24 富山医薬
金沢美 30－22 金沢医
金沢美 26－22 富山医薬

▼男2部・Bリーグ

新潟 24－9 長野
新潟 25－21 北陸
北陸 24－9 長野

▼5、6位決定戦

富山医薬 21－16 長野

▼3、4位決定戦

北陸大 26－21 金沢医

▼1、2位決定戦

新潟 34－11 金沢美

（順位）新潟大②金沢美大③北陸大④金沢医大⑤富山医薬大⑥長野大

〈女子〉

金沢 31－4 北陸
金沢 13－11 新潟
富山 キケン 北陸
信州 15－14 金沢
富山 25－4 新潟
信州 26－3 北陸
富山 22－7 信州
新潟 18－4 北陸
信州 14－4 新潟
金沢 19－12 富山

（順位）①富山大②金沢大③信州大④新潟大⑤北陸大

各地の記録から…

東北

第37回宮城県高校総体

（6月4～6日／仙台市体育館、仙高体育館）

〈男子〉

▼1回戦

古川 33－20 古川工
宮城水産 キケン 東北
佐沼 20－19 名取北
仙台三 26－17 宮城広瀬
仙台一 24－10 築館
泉松陵 26－7 一迫商
仙台商 29－25 宮城工
仙台 29－15 榴ケ岡
仙台南 34－12 電子工
仙台向山 27－18 泉館山
塩釜 28－17 仙台東

▼2回戦

古川商 26－19 古川
宮城水産 31－7 上沼農
仙台三 19－16 佐沼
仙台一 14－10 仙台二
仙台向山 21－11 仙台南
仙台育英 26－12 塩釜
仙台西 22－17 泉松陵
仙台商 23－14 仙台

▼3回戦

仙台三 17－15 仙台一
古川商 40－5 宮城水産
仙台西 40－15 仙台商
仙台育英 30－15 仙台向山

▼準決勝

古川商 22－11 仙台三
仙台育英 14－12 仙台西

▼決勝

古川商 13（7－4、6－5）9 仙台育英

〈女子〉

▼1回戦

古川商 18－8 泉館山

▼2回戦

聖和 23－11 古川商
仙台西 22－9 名取北
佐沼 20－6 築館女
朴沢女 29－4 泉松陵
涌谷 16－2 宮一女
宮二女 22－5 塩釜女
古川女 32－3 仙台女商
宮三女 20－11 飯野川

▼3回戦

聖和 39－3 仙台西
朴沢女 38－9 佐沼
涌谷 15－2 宮二女
宮三女 20－9 古川女

▼準決勝

聖和 29－9 朴沢
涌谷 16－12 宮三女

▼決勝

聖和 24（10－4、14－5）9 涌谷

国体宮城県予選

（7月17、21、22、23日／県スポーツセンター、古川工高ほか）

〈成年男子部〉

※宮城教育を推せん。

〈成年男子2部〉

▼リーグ戦

東北学院大OB 40－24 育英ク
育英ク 29－25 東北電力
東北学院大OB 52－20 東北電力

〔順位〕①東北学院大OB②育英ク③東北電力

〈成年女子〉

▼リーグ戦

聖和ク 47－15 古川商高OG
涌谷高ク 25－10 古川商高OG
聖和ク 29－15 涌谷高ク

〔順位〕①聖和ク②涌谷高ク③古川商高

〈少年男子〉

▼1回戦

古川工 42－5 上沼農
仙台商 24－10 築館
仙台三 27－10 電子工
泉松陵 37－12 古川
宮城広瀬 20－11 泉館工
仙台 15－14 仙台向山
仙台東 19－17 塩釜
一迫商 28－14 宮城水産
仙台一 27－8 榴ケ岡
名取北 19－17 宮城高専
仙台南 21－12 東北

▼2回戦

古川商 33－27 古川工
仙台商 23－17 佐沼
泉松陵 22－10 仙台三
仙台二 31－22 宮城広瀬
仙台西 31－16 仙台
仙台東 28－19 一迫商
仙台一 22－17 名取北
仙台育英 35－12 仙台南

▼3回戦

古川商 38－11 仙台商
仙台二 13－11 泉松陵
仙台西 41－20 仙台東
仙台育英 46－10 仙台一

▼準決勝

古川商 23－19 仙台二
仙台育英 28－18 仙台西

▼決勝

古川商 20（10－8、10－8）18 仙台育英

〈少年女子〉

▼1回戦

聖和 44－4 佐沼
宮一女 20－11 泉館山
古川女 16－6 築館女
古川商 13－11 宮三女
朴沢女 23－5 宮二女
仙女商 14－7 宮広瀬
塩釜女 14－6 仙台西
涌谷 30－11 飯野川

▼2回戦

聖和 39－1 宮一女
古川商 23－12 古川女
朴沢女 34－6 仙女商
涌谷 32－9 塩釜女

▼準決勝

聖和 22－11 古川商
涌谷 13－11 朴沢女

▼決勝

聖和 16（8－6、8－5）11 涌谷

関東

茨城県民総体

（6月25、26日／笠間市民体育館）

〈県民総体の部〉

▼1回戦

出島北ク 22－14 藤代ク

▼2回戦

土浦三高 32－22 出島北ク
茨城大 32－21 千代田ク

▼決勝

茨城大 31（18－10、13－13）23 土浦三高

〈国体予選の部〉

▼1回戦

茨城コ 57－10 常陽銀行

▼2回戦

茨城コ 27－21 茨苑ク
筑波学 41－15 日原研

▼決勝

茨城コ 34（18－14、16－17）31 筑波学

〈オープン戦〉

茨城高選 31（11－6、20－6）12 鬼怒清流

全国高校総体茨城県予選

（6月18～20日／笠間高校）

〈男子〉

▼1回戦

麻生 22-15 竜ケ崎南
波崎 19-18 緑岡
竜ケ崎一 20-11 太田一
水海道一 23-17 玉造工
岩井 13-10 笠間
土浦工 25-18 江戸川学
伊奈 20-14 日立一
土浦日大 20-19 土浦湖北

▼2回戦
麻生 31-13 波崎
水海道一 27-20 竜ケ崎一
岩井 16-15 土浦工
土浦日大 22-11 伊奈

▼準決勝
麻生 25-24 水海道一
岩井 23-17 土浦日大

▼決勝
麻生 14（7-8, 7-6）14 岩井（4 PTC 0）

〈女子〉

▼1回戦
水海道二 32-9 高萩
水海道一 27-14 笠間
竜ケ崎一 16-10 藤代
竜ケ崎二 43-16 牛久
麻生 16-9 土浦二
聖徳学 34-19 鉾田二
日立二 12-10 潮来
結城二 28-15 愛国学

▼2回戦
水海道二 30-19 水海道一
竜ケ崎二 19-7 竜ケ崎一
麻生 13-12 聖徳学
結城二 29-8 日立二

▼準決勝
水海道二 19-17 竜ケ崎二
麻生 16-13 結城二

▼決勝
水海道二 19（10-6, 9-6）12 麻生

埼玉県高校学徒総合大会

（6月11～28日／伊奈学園総合高校）

〈男子〉

▼1回戦
草加 29-18 城北埼玉
羽生一 23-19 桶川
春日部共栄 22-7 川越南
科学技術 29-16 八潮南
春日部 25-9 秩父
岩槻 39-22 幸手
越谷西 20-17 緑ケ丘
越谷南 22-22 春日部東（2 PTC 1）
上尾南 22-17 大宮北
大宮 28-13 秩父農
川口東 19-14 北本
三郷北 21-11 和光
川口 14-13 草加東
大宮南 49-9 富士見
所沢北 18-17 庄和
朝霞 18-10 志木
城西川越 19-10 浦和工
浦和南 28-19 戸田
三郷工 21-11 宮代
埼玉一 17-14 久喜北陽
西武文理 24-13 鳩ケ谷
小松原 32-9 杉戸農業
鴻巣 36-3 吹上
川口工 19-17 筑坂戸
朝霞西 52-15 久喜工
浦和市立 27-12 熊谷

▼2回戦
伊奈 27-24 草加
春日部共栄 16-12 羽生一
科学技術 30-23 春日部
狭山 28-18 岩槻
埼玉栄 40-14 越谷西
越谷南 26-20 上尾南
川口東 19-6 大宮
三郷北 14-14 川口（3 PTC 2）
大宮南 30-11 大井
朝霞 17-9 所沢北
浦和南 22-11 城西川越
三郷工 13-11 埼玉一
農大三 17-14 西武文理
小松原 19-15 鴻巣
川口工 33-13 朝霞西
春日部工 17-13 浦和市立

▼3回戦
伊奈 22-17 春日部共栄
狭山 26-22 科学技術
埼玉栄 28-13 越谷南
川口東 20-10 三郷北
大宮南 31-7 朝霞
浦和南 28-8 三郷工
農大三 16-15 小松原
川口工 17-15 春日部工

▼4回戦
浦和実 21-14 伊奈
西武台 34-6 狭山
埼玉栄 19-19 浦和西（1 PTC 0）
上尾東 18-11 川口東
浦和学 17-9 大宮南
川口青陵 27-24 浦和南
県立坂戸 15-10 農大三
川口北 26-7 川口工

▼ブロック代表決定戦
浦和実 15-13 西武台
上尾東 20-12 埼玉栄
浦和栄 29-17 川口青陵
川口北 21-17 県立坂戸

▼決勝リーグ
浦和学 15-13 浦和実
浦和学 23-7 川口北
浦和学 20-13 上尾東
浦和実 9-7 川口北
浦和実 20-11 上尾東
川口北 26-22 上尾東

（順位）①浦和学（3勝）②浦和実（2勝1敗）③川口北（1勝2敗）④上尾東（3敗）

〈女子〉

▼1回戦
浦和市立 55-3 鳩ケ谷
越谷南 20-8 大宮開成
行田女 20-19 草加
大宮南 19-15 幸手商
秋草 22-20 浦和西

▼2回戦
伊奈 32-6 志木
八潮 33-3 所沢北
筑坂戸 23-14 浦和商
浦和市立 15-9 草加南
浦和南 18-11 越谷南
八潮南 28-3 戸田
狭山 41-1 上尾南
庄和 19-17 行田女
春日部女 12-0 大宮北
小松原女 35-6 北本

武蔵野 12－0 秩父
春日部共栄 25－9 大宮南
草加東 25－8 秋草
春日部東 17－16 本庄女
川口女 20－12 川口東
熊谷女 11－4 和光

▼3回戦

伊奈 13－9 八潮
筑坂戸 23－16 浦和市立
浦和南 15－11 八潮南
庄和 22－18 狭山
小松原女 23－11 春日部女
春日部共栄 27－9 武蔵野
草加東 32－11 春日部東
熊谷女 11－6 川口女

▼4回戦

浦和実 25－13 伊奈
浦和学 25－15 筑坂戸
川口北 19－7 浦和南
羽生一 30－4 庄和
三郷北 27－11 小松原女
朝霞 24－18 春日部共栄
上尾東 29－6 草加東
川口青陵 29－12 熊谷女

▼ブロック代表決定戦

浦和実 36－11 浦和学
川口北 19－18 羽生一
三郷北 29－14 朝霞
川口青陵 29－16 上尾東

▼決勝リーグ

浦和実 13－12 川口青陵
浦和実 28－9 三郷北
浦和実 25－19 川口北
川口青陵 18－12 三郷北
川口青陵 25－18 川口北
三郷北 18－14 川口北

〔順位〕①浦和実（3勝）②川口青陵（2勝1敗）③三郷北（1勝2敗）④川口北（3敗）

第18回関東クラブ選手権

（7月2、3日／草加スポーツ健康都市記念体育館）

〈男子1部〉

▼1回戦

日川ク（山梨）27－12 富岡ク（群馬）
IHク（神奈川）27－19 土浦三高ク（茨城）
柿の実ク（栃木）19－15 小金ク（千葉）
桜門ク（東京）29－16 46G会（埼玉）

▼準決勝

日川ク 22－10 IHク
桜門ク 40－7 柿の実ク

▼決勝

日川ク 33（16－10、17－13）23 桜門ク

▼3位決定戦

富岡ク 24－13 土浦三高ク
46G会 26－20 小金ク
IHク 27－20 46G会
富岡ク 36－14 柿の実ク

〔順位〕①日川ク②桜門ク③IHク③富岡ク

〈男子2部〉

▼1回戦

学芸球駿会（東京）16－15 甲府ク（山梨）
笠間ク（茨城）16－13 北斗七星（埼玉）
旭ク（神奈川）26－19 前橋ク（群馬）
市川FOG（千葉）14－9 日立栃木ク（栃木）

▼準決勝

学芸球駿会 19－15 笠間ク
旭ク 21－14 市川FOG

▼決勝

学芸球駿会 24（14－8、10－10）18 旭ク

▼3位決定戦

甲府ク 24－17 北斗七星
前橋ク 24－19 日立栃木ク
甲府ク 35－23 前橋ク

〔順位〕①学芸球駿会②旭ク③市川FOG③笠間ク

〈女子〉

▼予選リーグA組

和洋ク（千葉）14－7 光電ク（群馬）
日川ク（山梨）20－12 光電ク
日川ク 17－14 和洋ク

〔順位〕①日川ク②和洋ク③光電ク

▼予選リーグB組

東京女子（東京）17－13 御城ク（茨城）
保土ケ谷ク（神奈川）12－0 オレンジク（栃木）
オレンジク 19－19 東京女子
御城ク 15－7 保土ケ谷ク
オレンジク 16－9 御城ク
東京女子 22－10 保土ケ谷ク

〔順位〕①東京女子②オレンジク③御城ク④保土ケ谷ク

▼3位決定戦

オレンジク 20－8 和洋ク

▼決勝

日川ク 20（3－2、1－1、7－7、9－9）19 東京女子

国体千葉県予選

（7月9、10、22、23日／柏陵高、東京学館高）

〈成年男子〉

▼1回戦

千葉教員 34－20 勝浦HC
コスモ石油 28－27 海目下総
若松クラブ 28－23 小金クラブ
若潮ナッツ 38－27 若潮クラブ

▼準決勝

千葉教員 44－25 コスモ石油
若潮ナッツ 30－23 若松クラブ

▼決勝

千葉教員 39（22－12、17－11）23 若潮ナッツ

〈成年女子〉

▼1回戦

習東クラブ 30－14 千葉なのはなクラブ

▼決勝

千葉クラブ 18（7－9、11－8）17 習東クラブ

〈少年男子〉

▼1回戦

千葉選抜 キケン 我孫子
二松沼南 38－8 船橋西
東葛飾 14－12 国府台
学館浦安 36－4 鶴舞商
東京学館A 23－14 柏陵

東邦 31－14 木更津
柏南 36－20 小金
佐原 27－8 京葉
泉 23－18 沼南
流山中央 42－3 明徳
柏 39－3 市立松戸
若松 33－29 市川ハンド(同)
東京学館B 33－11 市原
市川 32－8 若松B

▼2回戦
千葉選抜 42－8 二松沼南
学館浦安 43－10 東葛館
東京学館A 27－20 市川西
東邦 31－10 船橋法典
佐原 19－19 柏南（3PTC2）
流山中央 27－20 泉
若松A 33－11 柏
市川 19－16 東京学館B

▼3回戦
千葉選抜 26－13 学館浦安
東邦 20－11 東京学館A
佐原 13－12 流山中央
市川 21－16 若松A

▼準決勝
千葉選抜 25－11 東邦
市川 18－7 佐原

▼決勝
千葉選抜 24（12－9、12－8）17 市川

〈少年女子〉

▼1回戦
千葉選抜 49－1 東金女子
和洋B 19－10 柏南
東邦 14－6 流山中央
和洋A 25－16 佐原女子

▼準決勝
千葉選抜 34－3 和洋B
和洋A 32－8 東邦

▼決勝
千葉選抜 18（10－7、8－8）15 和洋A

第42回千葉県中学総体

（7月27日～29日／市川市民体育館）

〈男子〉

▼1回戦
花園 15－10 流山南
河原塚 27－9 柏南部
葛飾 23－14 佐原
野田一 17－14 若松

▼2回戦
花園 15－13 福栄
東邦 26－7 河原塚
妙典 19－7 葛飾
逆井 17－14 野田一

▼準決勝
東邦 15－12 花園
妙典 13－10 逆井

▼決勝
東邦 11（6－5、5－5）10 妙典

〈女子〉

▼1回戦
白井 19－5 上志津
佐原二 28－0 聖徳
二宮 8－4 逆井

▼2回戦
野田一 19－2 湖北台
福栄 14－2 白井
昭和学院 11－9 佐原二

▼準決勝
花園 15－8 二宮
野田一 15－5 福栄
花園 9－8 昭和学院

▼決勝
野田一 15（8－2、7－2）4 花園

近畿

全国高校総体奈良県予選

（6月11、12、19日／生駒市総合体育館、生駒市市民体育館、奈良大学体育館）

〈男子〉

▼1回戦
奈良 27－12 上牧

▼2回戦
奈良 27－20 橿原
高田東 17－11 畝傍
斑鳩 27－12 片桐
生駒 22－12 富雄
添上 31－18 一条
郡山 23－14 奈良工
天理 21－19 広陵
正強 31－14 東大寺

▼3回戦
奈良 15－14 高田東
生駒 18－15 斑鳩
添上 27－16 郡山
正強 28－13 天理

▼準決勝
生駒 18－15 奈良
添上 20－18 正強

▼決勝
添上 21（13－3、8－14）17 生駒

〈女子〉

▼1回戦
一条 30－2 桜井商
富雄 29－11 上牧
生駒 15－12 郡山

▼2回戦
添上 22－1 一条
富雄 35－12 十津川
短大付 16－9 片桐
白藤 25－12 生駒

▼準決勝
添上 30－12 富雄
白藤 13－8 短大付

▼決勝
添上 13（8－3、5－5）8 白藤

第31回近畿高校

（7月22日～24日）

〈男子〉

▼1回戦
高砂南（兵庫）17－8 市和歌商（和歌山）
豊中（大阪）23－15 野洲（滋賀）
正強（奈良）20－13 伊丹北（兵庫）
此花学院（大阪）36－5 近大付和歌山（和歌山）
北陽（大阪）30－9 箕島（和歌山）
明石北（兵庫）24－12 北嵯峨（京都）

桂 22－11 兵庫工（兵庫）
初芝（大阪） 29－13 添上（奈良）

▼2回戦

高砂南 19－16 大谷（京都）
豊中 16－15 桃山学院（大阪）
正強 15－9 八幡工（滋賀）
此花学院 24－18 育英（兵庫）
北陽 22－16 長浜北（滋賀）
明石北 17－8 橿原（奈良）
桂 16－9 那賀（和歌山）
上宮（大阪） 14－12 初芝

▼3回戦

高砂南 18－15 豊中
此花学院 25－15 正強
北陽 18－13 明石北
上宮 18－15 桂

▼準決勝

此花学院 24（10－9、14－6）15 高砂南
北陽 17（8－7、9－6）13 上宮

▼決勝

此花学院 23（12－9、6－9、3－3、2－1）22 北陽

〈女子〉

▼1回戦

宣真（大阪） 9－3 添上（奈良）
彦根商（滋賀） 21－6 那賀（和歌山）
福島女（大阪） 10－8 向陽（京都）
鈴蘭台（兵庫） 31－7 新宮（和歌山）
京都女（京都） 15－9 守山女（滋賀）
夙川学院（兵庫） 17－6 初芝（大阪）
四天王寺（大阪） 19－6 明石（兵庫）
粉河（和歌山） 11－9 奈良白藤（奈良）

▼2回戦

彦根商 10－9 宣真
鈴蘭台 21－7 福島女
夙川学院 13－4 京都女
四天王寺 28－4 粉河

▼準決勝

鈴蘭台 16（9－3、7－9）12 彦根商
四天王寺 15（9－6、6－4）10 夙川学院

▼決勝

四天王寺 17（9－3、8－5）8 鈴蘭台

第27回岡山県高校総体

（6月5、6日／岡山県立西大寺高校）

〈男子〉

▼1回戦

総社 17－10 吉備
西大寺 14－13 倉敷南
児島 27－7 総社南
天城 26－11 備前東
倉敷工 18－1 一宮
倉敷商 24－14 玉野
水島工 21－14 津山
東岡山工 23－4 金川

▼2回戦

総社 19－16 西大寺
児島 14－13 天城
倉敷工 19－14 倉敷商
東岡山工 22－12 水島工

▼準決勝

総社 14－13 児島
東岡山工 12－11 倉敷工

▼決勝

東岡山工 12（5－5、7－5）10 総社

〈女子〉

▼1回戦

西大寺 18－1 玉野
備前東 22－5 落合
古城池 14－5 総社南
児島 29－3 芳泉
総社 13－6 操山
倉敷南 9－7 青陵
倉敷商 17－2 津山
玉野光南 35－9 倉敷中央

▼2回戦

西大寺 29－8 備前東
児島 24－10 古城池
総社 18－13 倉敷南
玉野光南 36－6 倉敷商

▼準決勝

西大寺 18－10 児島
玉野光南 25－10 総社

▼決勝

玉野光南 16（8－3、8－9）12 西大寺

山口県高校総体

（6月4～6日／岩国工業高校、岩国商業高校、岩国地区各高校）

〈男子〉

▼1回戦

小野田工 26－13 南陽工
徳山 24－20 山口
徳山商 32－3 田部
徳山工 20－17 防府商
宇部工 25－15 下関西
下関工 23－15 防府西
下関一 21－19 野田学園

▼2回戦

岩陽 33－9 小野田工
下松 17－14 徳山
徳山商 44－10 華陵
下関中央工 34－16 徳山工
岩国 36－6 宇部工
岩国工 28－11 西京
高水 18－15 下関工
下松工 34－9 下関一

▼3回戦

岩陽 21－19 下松
下関中央工 22－14 徳山商
岩国 18－16 岩国工
下松工 22－11 高水

▼準決勝

岩陽 33－16 下関中央工
下松工 18－17 岩国

▼決勝

岩陽 18（8－7、10－10）17 下松工

〈女子〉

▼1回戦

岩国 29－1 西京

▼2回戦

岩国商 27－15 岩国
長府 18－6 坂上
田部 38－11 徳山工
徳山 38－5 山口中央
高水 23－3 防府商
岩陽 11－9 華陵
熊毛北 25－8 響
徳山商 39－2 防府西

▼3回戦

岩国商 32－9 長府
徳山 18－3 田部
高水 14－11 岩陽
熊毛北 17－17（6 PTC 5）徳山商

▼準決勝

岩国商 20－15 徳山
高水 23－21 熊毛北

▼決勝

岩国商 18（11－6、7－7）13 高水

第21回境港市民総体

（6月12日／境港市民体育館）

〈男子〉

▼予選リーグ

。第1ブロック

1中 17－15 境工B
境高A 13－11 1中
境高A 21－11 境工B

。第2ブロック

境工A 20－2 3中
境高B 14－6 3中
境高B 8－4 境工A

。第3ブロック

米子東 13－10 2中
境港ク 26－11 2中
境港ク 33－17 米子東

▼決勝トーナメント1回戦

境高B 19－19（3 PTC 2）境高A

▼決勝

境港ク 22（14－9、8－11）20 境高B

〈女子〉

▼予選リーグ

。第1ブロック

境高B 29－5 2中
2中 19－11 2中①
境高B 28－0 2中①

。第2ブロック

米子東 21－3 3中
米北OG 19－3 3中
米子東 14－12 米北OG

。第3ブロック

境高A 30－0 1中
境ク 26－3 1中
境高A 15－10 境ク

▼決勝トーナメント1回戦

米子東 15－14 境高B

▼決勝

境高A 29（11－7、18－5）12 米子東

九州

第38回九州高校

（7月21日～28日）

〈男子〉

▼1回戦

小禄（沖縄）29－11 鹿児島工（鹿児島）
瓊浦（長崎）27－17 神埼農（佐賀）
中津北（大分）27－23 宮崎西（宮崎）
天草（熊本）25－23 九州産（福岡）
熊本市商（熊本）31－14 神埼（佐賀）
那覇（沖縄）19－18 大分電波（大分）
久工大付（福岡）24－22 大島（鹿児島）
長崎日大（長崎）34－22 宮崎工（宮崎）

▼2回戦

小禄 22－18 瓊浦
天草 41－18 中津北
熊本市立 28－13 那覇
長崎日大 17－16 久工大付

▼準決勝

小禄 16（9－9、7－4）13 天草
熊本市商 32（13－12、10－11、2－2、2－2、2－1、3－2）30 長崎日大

▼決勝

熊本市商 20（11－9、9－4）13 小禄

〈女子〉

▼1回戦

熊本女商（熊本）32－18 有馬商（長崎）
具志川（沖縄）20－17 筑紫女学園（福岡）
本庄（宮崎）18－9 大分鶴崎（大分）
佐賀女（佐賀）13－12 国分実（鹿児島）
小禄（沖縄）19－12 牧園（鹿児島）
宇土（熊本）17－10 神埼農（佐賀）
佐世保北（長崎）27－18 小林商（宮崎）
佐賀関（大分）27－17 三井（福岡）

▼2回戦

熊本女商 20－15 具志川
佐賀女 13－9 本庄
小禄 14－13 宇土
佐賀関 35－19 佐世保北

▼準決勝

熊本女商 19（12－3、7－3）6 佐賀女
佐賀関 19（8－8、11－4）12 小禄

▼決勝

熊本女商 20（9－7、11－3）10 佐賀関

ハンドボール・トレーニング読本

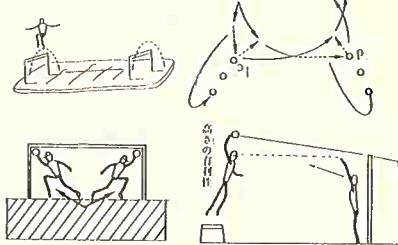
これでチームが強くなる

ハンドボーラー待望の1冊

好評発売中!

武庫川女子大学助教授
元全日本女子チームコーチ　櫻塚正一 著

西ドイツ留学など豊富な経験をもとに、科学的なトレーニング理論と方法を駆使、ハンドボール選手の競技力を高めるために必要な、あらゆるトレーニング法を紹介した。明日からの練習計画にすぐに役立つ貴重な1冊。

A5判216ページ　¥2,000(送料こみ)

「これでチームが強くなる」目次

当社へ直接お申し込み下さい

☆㈱スポーツイベント刊行のハンドボール・トレーニング読本「これでチームが強くなる」は、まだ本屋さんでは取扱っていませんので、当社へ直接、電話やハガキ、現金書留でお申し込み下さい。

購入は前金制です。1冊¥2,000(送料込み)。ハガキ、電話でのお申し込みには郵便局用の払込用紙をお送り申し上げます。

電話かハガキでご注文下さい

☎ 03-294-5231

㈱スポーツイベント　〒101 東京都千代田区神田小川町1の9 川上ビル3F

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二七七号
昭和四十年六月
第三種郵便物認可
昭和六十三年七月二十五日 印刷
昭和六十三年八月一日 発行
東京都渋 南一―一―一
電話 代表)一三六一
振替 東京 六―五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)